

第17回を迎える内子座
文楽公演(同実行委員会
主催、源田恒雄実行委員
長)は8月24・25の両日、
内子座で開かれました。

「近頃河原の達引」を上
演。内子座公演でおなじ
みの豊竹嶋大夫さんや吉
田和生さんなどが出演し
ました。

日本の伝統芸能を味わう 「内子座文楽」第17回公演開催



1_「平家女護島」的一幕、俊寛が千鳥を実の娘のように思いやる 2_公演前の鏡開きなどで盛り上がる文楽ファンの皆さん (写真:産経新聞社提供)

「観光インターンシップ」 愛媛大学生が職業体験

「観光インターンシップ」とは、職業体験を通して、観光まちづくりに関する幅広い知識を学ぶ愛媛大学の講義です。

今回はビジターセンターが7月～11月の間、法文学部2回生の小池佑太さんを受け入れています。小池さんは、研修課題



石畳地区の愛媛企業組合に炭焼きについて聞く小池佑太さん(右)

学校教育の向上を目指し 「内子町学力向上セミナー」開催



町内の小中学校の教員123人がセミナーに参加

内子町教育委員会は8月29日、内子町共生館で「内子町学力向上セミナー」を開きました。学校教育の質の向上を目指し、町内の小中学校の教員が参加しました。

テーマに、愛媛大学教育学部の平松義樹教授が講演。「学力とは、知識を頭の中でつなげる力である。向上には家庭の協力も必要。サッカーの相手国を地図で一緒に探すなど、日頃から楽しく会話して、学習に結びつけることが大切」と語りました。

瀬戸内海環境保全功労者表彰 環境NPOサン・ラブが受賞

「えひめA.I.I.」などで水質浄化活動に尽力している特定非営利活動法人環境NPOサン・ラブ(入江英昭理事長)は9月7日、瀬戸内海環境保全特別措置法制定40周年の記念式典で「瀬戸内海環境保全知事・市長会議議長賞」を受賞しました。

長年にわたる景観保全活動や循環型社会を目指す活動が認められました。入江さんは「住民や行政と協力して続けた結果が、表彰につながった。皆さんに感謝するともに、より多くの人が環境に対する興味を持ってほしい」と述べました。

小田深山の魅力について話そう 「おしゃべりA・runze」

内子町は9月21日、ビジターセンターA・runzeで「おしゃべりA・runze」を行いました。

同企画はビジターセンター企画展の作者を囲み、作品を通じて内子町の魅力を語り合うことを目的としています。初回は現在展示中の

「小田深山の四季写真」を撮影した高橋毅さんとの開催。写真愛好家など16人が参加しました。高橋さんは、小田深山でしか見られない魅力を写真で紹介し、「私は3年間小田深山に通った。その情熱がいい風景写真を撮る秘訣」と語りました。



1_表彰を受け謝辞を述べる岸田透さん(91)＝林慶＝ 2_正しい歩き方を指導する忠正啓文さん

健康づくりで心豊かな毎日を 「内子町健康まつり2013」

内子町は9月7日、明るく豊かな長寿社会の実現を目的として「内子町健康まつり2013」を開きました。

まず、日頃の健康管理に努め地域活動に貢献した人に贈られる「高池健康づくり優良者」(5人)の表彰式が行われました。

続く記念講演では、健康運動指導士の忠政啓文さんが「歩き方が変われば、人生が変わる」と題して登壇。簡単な運動を

交えながら、歩くことの大切さや楽しさを紹介し、「歩くことで体の機能が高まる。さらに腕の振りを意識して歩けば、体力向上につながる。日常の何気ない動きを効果的な運動にして、健康な体をつくらう」と呼びかけました。

その他、健康チェックコーナー、簡単ヨガ教室、などが設けられ、参加者は健康づくりに対する関心を高めていました。